

■第3回新潟県SSH生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA■

6月17日(月)に、『第3回新潟県SSH生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA』がアオーレ長岡を会場に開催されました。この会は平成25年度にSSHに指定されて以来、毎年実施をしているもので、本年度で第3回となりました。本校を含めた新潟県のSSH指定校5校(新発田, 新潟南, 長岡, 柏崎, 高田)の生徒が集まり、お互いに交流を深めました。今年三条市から2名の中学生が参加してくれました。

当日のようすを紹介します。

まず初めに、『課題研究』のステージ発表が行われました。5校からそれぞれ1つのグループが代表として発表しました。取り組んだ研究の成果をスライドを使用して分かりやすく発表していました。本校の生徒は英語で発表しました。



続いて、『課題研究』のポスターセッションが行われました。ポスターセッションとは、生徒が自分たちの研究成果を記したポスターを使って、聞きに来てくれた人に発表(説明)をするというものです。発表をする人と発表を聴く人の距離が近く、活発なやりとりが行われていました。



最後に、『生徒交流会』が行われました。これは生徒を5名程度のグループに分け、実技課題に取り組んでもらうというものです。今年の課題は、

「ストロー斜塔をつくろう！」

としました。

今年のひとつのグループの人数は6名で、参加校の生徒を混合させてグループを編成しました(長岡高校の普通科の生徒は、クラスを混合してグループを編成しました)。

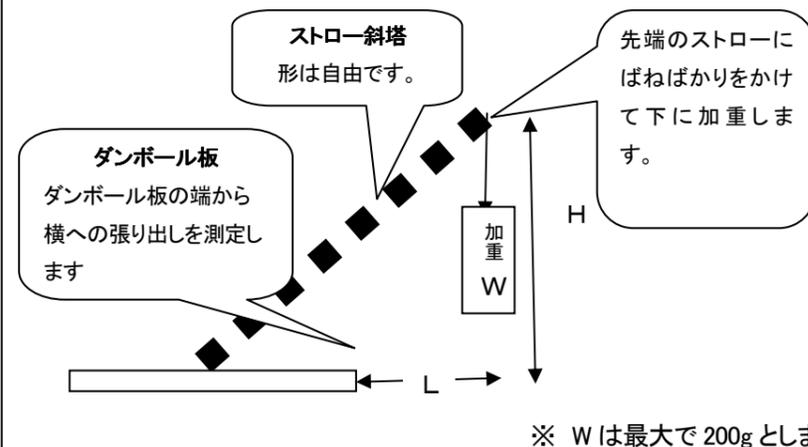
ルールは以下とおりです。

制限時間(1時間)以内にストローとセロテープでダンボール板の上に斜塔をつくってください。

できるだけ高く、横に張り出した、頑丈な斜塔をつくってください。

記録測定時には斜塔の先端から鉛直方向下向きに(地面に向かって)ばねばかりを使って加重をかけます。

斜塔の高さをH、横への張り出しをL、そして頂点から加重をかけ、斜塔が折れる(先端が地面につく)までの負荷をWとし、H、L、Wの積を測定します。積が一番大きいグループを優勝とします。



H×L×W の値が
一番大きいチームが
優勝です。

※ Wは最大で200gとします。

はじめのうちはぎこちない雰囲気でしたが、すぐに打ち解けあい、よりよいものを作ろうと協力して作成に取り組んでいました。『どんなものを作ろうか』とじっくり案を考えてから作成するグループがあったり、『とりあえず作り出してみよう』と試行錯誤しながら作成するグループがあったりとさまざまでした。

作成時間が終了すると、係の生徒により測定と、記録の集計が行われました。平行して、作成した斜塔を囲んで、グループのメンバーの記念写真を撮影しました。



左が優勝したグループ(本校普通科1年生)です。

高さ H=133[cm]
張り出し L=110[cm]
加重 W=55[g]
総合 H×L×W=804650 ポイント

第2位は 569625 ポイント、第3位は 564300 ポイントでした。

当日は、NHKと新潟日報の取材がありました。NHKでは当日の夕方と夜の県内ニュースで紹介されました。新潟日報には6月23日の朝刊に記事が掲載されました。